

次号予告

特集 ORソフト——離散系シミュレーション

離散系シミュレーションを取り巻く実態と展望
 ……梅田茂樹(武蔵大)森戸 晋(早稲田大)

シミュレーションソフトと統計的側面
 ……若山邦紘(法政大)

製造分野におけるシミュレーション技術の展開
 ……上野信行(住友金属)

半導体生産工程のシミュレーション
 ……米田 清, 藤原 睦(東芝)

通信網に関するシミュレーション
 ……川島幸之助(NTT)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	森 雅夫	東京工業大学
副委員長	逆瀬川浩孝	早稲田大学
委員	伊藤 裕康	㈱富士通システム総研
	上野 哲郎	和光大学
	上野 信行	住友金属工業㈱
	大村 雄史	住商オットー㈱
	川合 庸一	川合産業研究事務所
	城川 俊一	東洋大学
	小池 将貴	筑波技術短期大学
	新村 秀一	住商情報システム㈱
	高橋 真吾	東京工業大学
	高橋 敬隆	日本電信電話㈱
	西尾テゾル	筑波大学
	宮川 雅智	青山学院女子短期大学
	矢島 安敏	東京工業大学
	山上 伸	東京瓦斯㈱
	山下勝比拡	㈱東芝

編集後記●いうまでもなく“計算”はORにとってデータ源の充実やモデリングと併せて大変ウェイトの高い要件である。しかし昨今はその負担がコンピュータの普及によってきわめて減ってきた。卑近な話、かつて手回し計算器を何日も回し手に豆を作ったり、パンチカードの束を重たい思いをして運んだのはつい先日のように思えるが、高性能パソコンやアプリケーションソフトの普及によってそのような“力仕事”は痕跡をとどめなくなり隔世の感がある。価格についても、たとえばハードディスクの容量単価はこの2年で10分の1になった。本誌『特集にあたって』で関口氏がいみじくも「20年前と比べても……今や、当時の超大型機を中学生がオモチャにする時代となった」と述べている●一方このごろはORの停滞についても議論されている。負担の大きかった力仕事が減り、今こそノバート・ウィーナーの説「機械のものは機械に、人間のものは人間に」の現実化として理論面も大きく進展していいはずなのにどうしてであろうか。ここに至って人間は本当に人間のできることをしている

かという基本的問題が改めて問われていることになる。あまりに急速に機械面の自動化(可能性も含めて)が進んでいるためにその扱い方に慣れていない、という面もある。その点“計算環境”の整備はグローバルな諸問題に対応するための情報ネットワークの整備と同様、ORのいわばインフラストラクチャーとして重要なものであろう●それらがバランスよく進展したとき、ORの果たせる役割はきわめて大きくなる。もちろん世の中にはデータとして認識し計算にのるものとのらないものがある。計算にのるものうち、のせているものはまだほんの一部である。計算にのせて対処すれば無駄な論争や闘争なくして解決する問題は無数にある。たとえば今般の経済状況については、ほとんどすべてのエコノミストが現実の状況を掴みず感じて判断し(設備能力投資)、その経済対策が後手に回って傷を大きくしたことは周知で経済白書も認めているとおりで●OR会員諸君、鋭い問題意識を磨き、新しい優れた“道具”を使いこなして各分野における立派な提案を期待します。(川合庸一)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成5年10月号 第38巻 第10号 通巻394号

代表者 伊理正夫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
 電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 森 雅夫

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円, 郵送料含)年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社 (3546-1337), 日経弘報社 (3583-2241) へ